

【編集後記】元政治記者が誰でもフリーの政治ジャーナリストとして活躍できるわけもありません。政治を見る目、政界での人脈、しゃべり方のうまさ、そして見た目も大事。後藤謙次さんは共同通信時代の実績に加えテレビ番組でコメントターとして活躍もあり、今や押しも押されぬ存在です。

経営学者はたいはい行動的ですが、藤本隆宏さんはその最右翼でしょう。次から次へと工場を訪ねて厳しく見て回り、現場の人たちの思いをしつかりと受け止めて帰ります。経済倶楽部での講演を中核とした次の著書（新書）が秋にはお目見えする予定とか。一回の分量が多いので本になりやすいのです。行動派といえは叶芳和さんもフットワークのいい学者です。

この一年はミャンマーに入れ込んでいて、高専大学教員の人材育成に日本が貢献する道筋をつけようと努力しています。石橋湛山賞の選考委員としてまもなく結論を出しますが、さて今年はどうなかが受賞記念講演に？

昨年度の休暇はどうでしたかと聞かれて、伊藤元重さんは「研究休暇ですよ」と軽く釘。学生を教える時間は免除されてもその分、研究に専念する休暇でした。東大オーケストラでトロンボーンを吹いた体力は今も健在で、講演当日、九階まで階段を登り切られたのはお見事…。

次号は前田昌孝氏（アベノミクス相場）、加藤出氏（異次元緩和とリスク）、寺島実郎氏（13年夏への視座）、辺真一氏（金正恩北朝鮮）です。次号から当欄の筆者が変わります。（A*T）

東洋経済 経済倶楽部講演録 (2013年6月号)

2013(平成25)年6月20日発行

本書内容の複写・複製・転載・磁気媒体への入力はお断りします。

発行人 山縣裕一郎 編集人 浅野純次

発行 東洋経済新報社
編集 一般社団法人 経済倶楽部

〒103-8345 東京都中央区日本橋本石町1-2-1 (東洋経済ビル9階)

電話 03-3270-0681 Fax 03-3270-0987

e-mail; keizaiclub@nifty.com

ホームページ <http://www.keizaiclub.or.jp>

印刷・製本 東港出版印刷

〈本誌は全国の経済倶楽部会員向けに刊行され、市販はいたしません〉